

事業評価個票（事業実施：令和2年度）

（様式2）

事業名	山形の未来を担う産業人材創出事業費					活動指標及び活動実績（アウトプット）	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
部局名	産業労働部						県内青少年少女発明クラブのクラブ数	活動実績	クラブ	7						
担当課名	中小企業・創業支援課、工業戦略技術振興課、雇用・コロナ失業対策課							当初見込み	クラブ	9	9	11				
事業開始年度	令和2年度		事業終了(予定)年度		令和4年度		活動実績	施設	5							
総合発展計画実施計画の位置付け	政策の柱、政策	[政策の柱3] 高い付加価値を創出する産業経済の振興・活性化 [政策1] I o Tなどの先端技術の活用等による産業イノベーションの創出				成果指標及び成果実績（アウトカム）	成果指標（所管部局の分析）		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
	施策	[施策3] イノベーション創出のための環境づくり [施策4] 新たな事業の創出をけん引する人材の育成・確保 [施策5] 起業家・スタートアップ企業の創出						成果実績	人	126						
目標指標	製造業従事者一人当たり 付加価値額				1,400 万円(R6)		県内青少年少女発明クラブの会員数	目標値	人	200	200	300				
事業の目的	新しい時代のグローバルな変化に対応しながら、本県産業を維持・発展させるためには、産業人材の育成・確保が不可欠であることから、将来の山形の産業を担う子ども達の育成、スタートアップ（創業）人材の育成、新卒・即戦力等の就業人材の確保、技能・技術を継承する人材の育成に一体的に取り組むもの。						達成度	%	63%							
事業概要	①はやぶさKIDS育成支援事業 県内青少年少女発明クラブの組織運営体制の基盤強化及びクラブ空白地域での基盤づくり ②コワーキングスペースネットワークモデル事業 県内のコワーキングスペースをネットワーク化し、新ビジネスの芽出しと、創業人材輩出を促進 ③スタートアップ支援事業 今後の本県産業を牽引する中核的ビジネスを創出するため、本県の強みを活かしたテーマでの、スタートアップ（創業）を支援 ④中小企業採用活動支援事業 新規学卒者等の採用に向け新たな取組みを行う県内の中小・小規模事業者に対し、その費用の一部を助成（採用ホームページの開設や就職サイトへの登録等） ⑤未来へつなぐものづくり技能振興事業 技能五輪・アビリンピック全国大会等へ出場する技能者の所属企業・団体等における訓練経費を支援					成果実績	件	0								
						コワーキングネットワークモデル事業による新規事業の創出件数	目標値	件	1	3	5					
						達成度	%	0%								
						活動指標及び成果指標設定の考え方										
活動指標については、本事業により維持・整備する青少年少女発明クラブ数及びコワーキングにおけるネットワークモデル導入施設数とし、それに伴う成果としてクラブの会員数と新規事業の創出件数とした。クラブの会員数については、クラブ新設に伴う会員増に加えて、経営基盤の安定化のようなソフト的支援による会員増も含めた目標としている。																
事業所管部局による評価・検証（令和3年7月）																
項目										評価		評価に関する説明				
事業の必要性	事業の目的が県民や社会のニーズを的確に反映し、成果目標の明確な達成手段として位置づけられ、優先度の高い事業となっているか。また、市町村・民間等に委ねることができない事業なのか。					A	本事業は、産業人材の育成・確保に一体的に取り組むことを目指したものであるが、新型コロナウイルスにより、社会全体が急速にデジタル化・オンライン化にシフトしていることも踏まえ、中小企業採用活動支援事業は補正予算を組んで、補助件数を拡充するなど、社会ニーズに対応して事業を進めることができた。									
	支出先の選定や受益者との負担関係は妥当であるか。					A	委託事業にかかる委託先の選定にあたっては、公募型プロポーザル方式や過去の委託実績等により、適切な支出先の選定を行っている。中小企業採用活動支援事業は、補助率1/2（小規模事業者は2/3）とし、応分の負担を求めた。									
事業の効率性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。また、類似の事業がある場合、他部局等と適切な役割分担を行っているか。					A	公募型プロポーザル方式や過去の委託実績等により、適切な支出先を選定することで効果的に事業が実施できた。類似の事業は無し。									
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。また、整備された施設や成果物などは十分に活用されているか。					B	新型コロナウイルス感染症の影響により、発明クラブの数については現状維持となった。限られた活動の中で、クラブの空白地域となっている複数の市町の首長との面談を実施した。クラブ創設には賛同を頂いており、今後の実績に繋がるものと考えられる。他事業の活動実績は、見込みどおりに実施した。									
事業の有効性（達成度）	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。					C	前述のとおり、発明クラブの数は現状維持となったが、個々のクラブの活動はコロナにより大きく制限され会員数は減少し、目標達成とはならなかった。コワーキングネットワークモデル事業による新規事業の創出件数は、コロナの影響によりネットワークのハード整備が遅れたことから0件となった。中小企業採用活動支援事業を活用した企業のなかには、入社希望者が増えたなどの成果も出ている。									
	・事業①及び②については、コロナ禍で実証事業等が制約されたが、本年3月に策定した「Yamagata幸せデジタル化構想」に、その事業目的等を盛り込んだ。今後、この構想に基づき、最新のデジタル技術の活用を促進するとともに、既に広く普及しているデジタル技術を社会に浸透させることにより、県民生活や産業等各分野におけるデジタル化関連事業を推進していく。また、民間企業の主導により産学官金が連携してDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進を目指すコンソーシアムが設立されたことから、構想の理念を共有して緊密に連携しながら、研修会等を通じて県内各分野のデジタル化の推進に取り組んでいく。 ・事業③については、職員の資格取得を引き続き推進するとともに、昨年度導入したモバイルPCの利活用に取り組んでいく。 ・事業④については、R2年度に発信した情報に対する反応等を分析し、引き続き利用登録者のニーズに応じた的確な情報発信を行っていく。															
財源内訳（単位：千円）	国庫支出金	8,337	16,861													
	県債															
	その他特定財源															
	一般財源	24,217	11,430													
	計	32,554	28,291													

（評価基準）  
 A:目標を上回る成果、活動見込を上回って達成(100%以上)/B:概ね目標どおりの成果、活動見込を概ね達成(80～99%)/C:目標を下回る成果、活動見込を下回った(79%以下)

## 山形の未来を担う産業人材創出事業費【新規】

32,554千円

## 目 的

本県産業の維持・発展に不可欠である産業人材の育成及び確保のため、将来の山形の産業を担う子ども達やスタートアップ（創業）人材、新卒・即戦力等の就業人材の育成・確保のほか、技能・技術を継承する人材の育成に一体的に取り組む。



コワーキングスペース  
LIGHT HOUSE（酒田市）



少年少女発明クラブ（山形市）



R1  
技能五輪・アビリンピック  
全国大会 金賞受賞者



## 事業内容

- ① はやぶさKIDS※育成支援事業 5,072千円
  - ・ 県内少年少女発明クラブの組織運営体制の強化、会員数の拡大、クラブ空白地域での基盤づくり等

※「はやぶさKIDS」は小惑星探査機「はやぶさ」の偉業にあやかり命名
- ② コワーキングスペース※ネットワークモデル事業 3,612千円
  - ・ 県内のコワーキングスペースをネットワーク化し、新ビジネスの芽出しと、創業人材輩出を促進

※ビジネスマンや創業を目指す人など多様な人材がオフィス環境を共有する場所
- ③ スタートアップ支援事業 13,401千円
  - ・ 今後の本県産業を牽引する中核的ビジネスを創出するため、本県の強みを活かしたテーマや成長が見込まれるテーマでの創業とスタートアップを支援（創業から2～3年）
- ④ 中小企業採用活動支援事業 5,939千円
  - ・ 県内中小企業が実施する新卒等の採用活動等の人材確保策に対し、オーダーメイド型の支援制度を創設
- ⑤ 未来へつなぐものづくり技能振興事業 4,530千円
  - ・ 技能五輪・アビリンピック全国大会へ出場する技能者の所属企業・団体等における訓練経費を支援